令和６年度　ひたちなか市立市毛小学校　グランドデザイン

【本県の教育目標】
〇ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性を培う
〇じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
〇郷土を愛し協力し合う心を育てる

【茨城県総合計画】
基本理念
「活力があり、県民が日本一幸せな県」

学校教育目標
ふるさとを愛し，夢や希望に向かって進む，心豊かでたくましい児童の育成
～魅力ある学校づくりの推進～

【本市の教育目標】
夢・感動・笑顔がひろがる教育のまちひたちなか
〇ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかいます
〇じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養います
〇家庭や地域と力を合わせ、豊かな心を育みます
〇ふるさとを愛し、協力し合う心を育てます
〇世界に視野を広げ、国際人としての視野を高めます

【めざす学校像】
〇信頼される学校
〇創意と活力に満ちた学校
〇地域と協働する学校

【めざす児童像】
〇自ら考え、工夫する子
〇思いやりのある子
〇元気でたくましい子

【めざす教師像】
〇情熱のある教師
〇確かな力量のある教師
〇人間力のある教師

＜学校経営の重点＞

1　基礎・基本の確実な定着と、問題解決能力の育成を図る。（知）
2　道徳教育や体験活動等の充実を図り、豊かな人間性や郷土を愛する心の育成に努める。（徳）
3　体育の学習指導及び健康教育の充実を図り、体力の向上と自己管理能力の育成に努める。（体）
4　保護者や地域社会と連携・協働し、安全・安心で信頼される学校を目指す。（協）
5　学校コンプライアンスの推進と研修に努め、教職員としての資質能力の向上を図る。（資）

合い言葉（い）っしょうけんめい（ち）からをあわせる（げ）んきな市毛っ子
【組織目標】楽しいがあふれる学校（結果・行動・存在の認め）

知のプロジェクト

～確かな学力の向上～
【グループ目標】自らの考えをもち、互いに学び合いを深めながら確かな学力の向上を図る。É

〇　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
・個別最適な学びと協働的な学びの充実
・課題設定、学び合い、振り返りの重視
〇　ICTの効果的な活用
・ICT活用推進教師を核とした研修の継続的な実施
〇　人的措置の効果的な利用
・研究主任を核とした授業の工夫・改善（教科指導、学級経営、生徒指導、特別支援教育等も含む）
・専科（理科）指導の充実
・一部教科担任制の実践
〇　家庭学習の習慣化
・家庭学習の手引きの活用、自主学習の推進

徳のプロジェクト

～豊かな心の育成と将来の夢を育む教育の充実～
【グループ目標】児童の自己肯定感・自己有用感を高め、豊かな心と将来の夢を育む。

〇　一人一人の心の居場所づくり
・自己肯定感、自己有用感の育成
・I－checkアンケートの効果的な活用
・教育相談の充実
〇　道徳科の授業の充実
・道徳教育推進教師を中心とした研修や授業改善
・交流活動の充実（各学級、縦割り班活動、異学年交流・一人一人の活躍の場の設定）
・感動体験の創造
〇　基本的な生活習慣の確立
・「先手あいさつ」「笑顔であいさつ」「立腰タイム」の励行
〇　キャリア教育の推進
・キャリアパスポートの作成と活用

体のプロジェクト

～健やかな体を育む教育の充実(体力の向上)～
【グループ目標】体力の向上や健康・安全のための実践力の育成を図る。

〇　体育の学習指導の充実
・運動量の確保と体育授業の工夫・改善
・各種実技調査や質問紙調査からのRPDCAサイクルの確立と実践(柔軟性アップ取組)
〇　運動の日常化
・多様な動きの経験、外遊びや業間運動の奨励
〇　生活リズムづくり
・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
〇　健康保持・増進
・保健教育、食育の奨励
〇　児童の危険予測・回避能力向上に向けた指導の充実
・安全指導(生活・交通・災害)の充実
・避難訓練、引き渡し訓練の実施

協のプロジェクト

～連携・協働と開かれた学校づくり～
【グループ目標】保護者や地域との連携を強化し、信頼される学校づくりに努める。

〇　コミュニティスクールの推進
・学校運営協議会の活性化、地域と連携した学校運営の推進
〇　地域の教材や人材の活用
・ふるさとづくりのための協働
・教育ボランティアの活用
〇　地域との連携・協働
・地域行事への積極的な参加
・自治会、二中学区地域の輪をつくる会等との連携
〇　各校・園との連携強化
・二中ブロック内の小・中学校との情報交換・連携・協働
・保幼中との円滑な連携・接続
〇　学校からの情報発信、情報収集

資のプロジェクト

～教職員の資質と指導力の向上～
【グループ目標】教職員としての確かな力量の向上を図る。

〇　教員評価の効果的な活用
・５つのプロジェクトに関するRPDCAサイクルの実践
〇　服務規律の確保に向けた学校コンプライアンス研修の充実
・ボトムアップ型の研修と「たいせつです」運動
〇　教職員の育成を目指した校内研修等の充実
・ＯＪＴ推進（相互授業参観　等）
・研修（教科指導、学級経営、生徒指導、ＩＣＴを活用した学び合い、特別支援教育等）の充実
〇　働き方改革の推進
・教育活動実施後の評価と見直し、業務実態調査の実施
〇　教職員の危機管理意識の高揚
・メール配信による緊急連絡体制の確立
・食物アレルギー対応の面談・研修の実施